

がれき保管エリアの全面マスク着用省略可能エリアの設定について

平成25年10月31日
東京電力株式会社



1

今回拡大予定の全面マスク着用省略可能エリア



<1F構内全面マスク着用省略可能エリア>

がれき保管エリアの全面マスク着用省略可能エリアの設定

目的

がれき保管テント等がある北側エリア(がれき保管エリア)の空气中放射性物質濃度、表土の放射性物質濃度の分布に基づき、全面マスク着用省略可能エリアに設定して防護装備を適正化し、作業員の負荷軽減、作業性の向上を図る。

ダスト・表土の測定結果

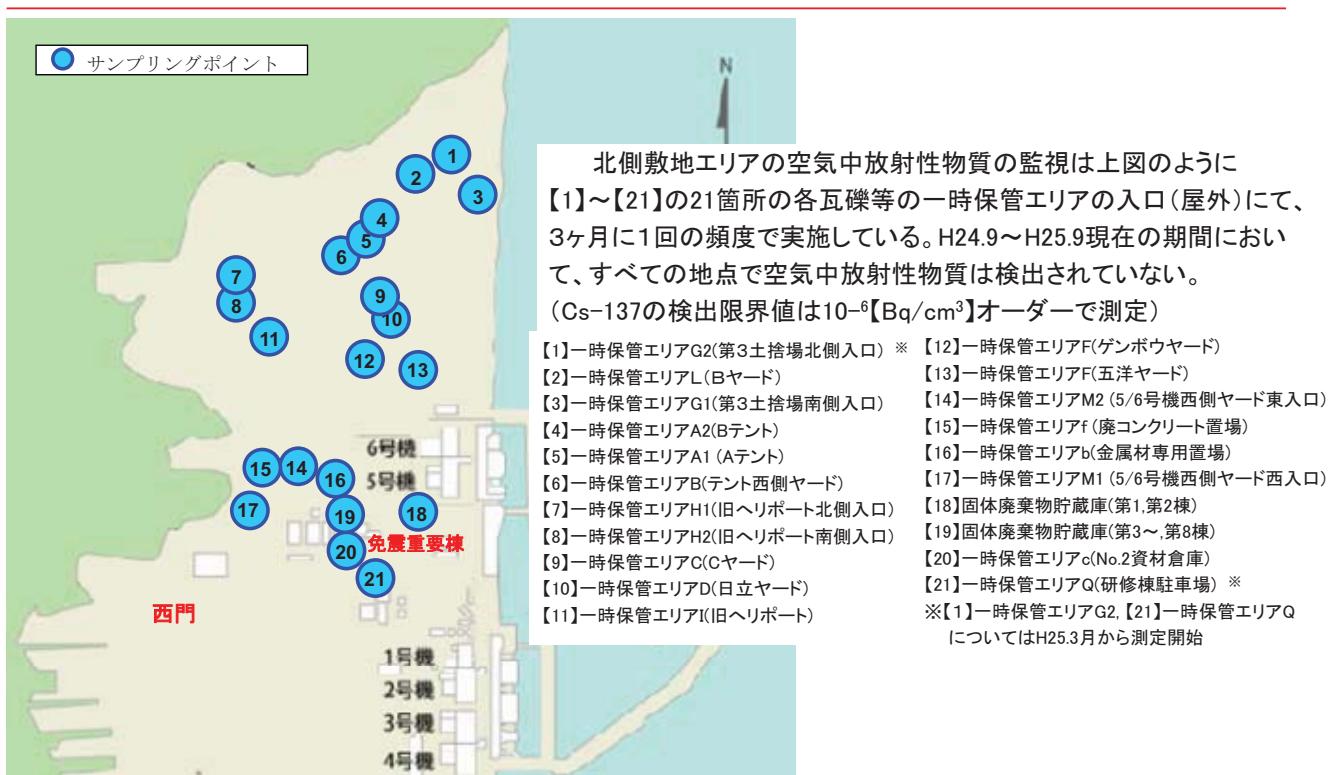
がれき保管エリアのダスト測定を3ヶ月に一回の頻度で実施しているが、H24.9～H25.9現在の期間において、すべての地点において、空气中放射性物質は検出されていない。(全面マスク着用基準: 2×10^{-4} Bq/cm³(粒子状Cs))

がれき保管エリアの表土の放射性物質濃度は、10の3乗～5乗オーダーで分布しており、現在設定している全面マスク着用省略エリアの表土と同等である。

運用開始

平成25年11月11日から、当該エリア内で、ダストの舞い上がりが少ない作業(土壤等のはぎ取り等の作業は不可)を行う場合は、捕集効率95%以上の使い捨て式防塵マスク(DS2)も着用可とする。

1F構内の空气中放射性物質濃度測定結果（瓦礫保管エリア）



構内表土の放射性物質濃度マップ



がれき保管エリアの表土の放射性物質濃度は、10の3乗～5乗オーダーで分布しており、
現在設定している全面マスク着用省略エリアの表土と同等であることを確認した。